

新垣集落 散策MAP



1 新垣の石橋 (村指定建造物)

沖縄戦以前の中城村の河川には、あちこちに石橋が見られたが現在はこの新垣の石橋が唯一残るアーチ形の石橋です。



2 若南ビラ(坂)の石畳

ハルミチ(畑道)として利用された道

戦前は坂道全体が石畳道で畑に行く人々が牛を連れてたりして利用していました。現在は新しい階段が整備されており、その南側に石畳の一部を残すのみとなっています。



5 ツンマース

新垣のロータリー

昔は大きな松がありその周囲を石積みで囲っていたことから「積みまわす」という意味の「ツンマース」と呼ばれていました。ここから道が3つに分岐しておりロータリー的な存在でした。



6 ペリーの旗立て岩 (村指定史跡)

地元では「ターチャーイン(二つ岩)」と呼ばれるこの岩は、米国ペリー艦隊の探検隊が立ち寄った場所として有名です。



3 県道開削記念碑 (村指定史跡)

車道がなく交通も不便で大変困っていた新垣区民。多難を乗り越え県道の開通に尽力した先人を讃え昭和9年に建立されました。



4 新垣区綱引き発祥の地碑

綱引きの拝所

旧盆の綱引き前に、綱引きが無事行われることを祈願する拝所です。中道のこの場所を境に上・下組に分かれて綱引きを行います。



陶房 火風水

中城の丘でご夫婦2人でうつわを作っています。島の自然の豊かさをうつわに表現しています。



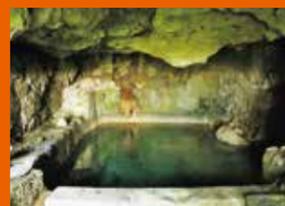
〒901-2422 沖縄県中城村新垣 126
TEL 098-995-7331
E-mail: tobohifumi@gmail.com
営業時間 10時~17時
※不定休のため、事前にお電話いただいております。



国指定史跡 新垣グスクと周辺文化財

新垣グスクと新垣上原遺跡は中城ハンタ道の一部として国指定史跡に指定されています。

A ミージャーガー



現在も枯れることのない井戸
豊かな水量と水質の良さから、新垣の人々の重要な生活用水として使用されたほか、集落の儀式などでも利用されていました。

B ウシノハナモモ



牛の頭のような形をした鍾乳石。宜野湾市野高の「ノダケパンタ」とこの岩が喧嘩をし両方が吠えて共鳴したという言い伝えがあります。

C ニードックル 根所



新垣集落の始まり
新垣の創始者の屋敷があったと言われている場所です。現在は区長や集落の有志が各行事祈願のほかその年生まれた子供の報告をしています。

D 新垣上原遺跡 (根所から仲嶺前の石畳道)



沖縄の伝統的な古村落の形
13世紀~近代までの集落跡で、北側の山(新垣グスク)を集落の鎮守の杜とし、南側に集落が広がる沖縄の伝統的な集落形態が学べます。

E 新垣グスク (一曲輪と二曲輪の間の石積)



オモロにも詠われたグスク
14世紀に築かれたグスクです。勢力を強めた中城グスクの勢力下に取り込まれ廃城になったと考えられています。

F イリ 西ヌカー (西ノ井戸)



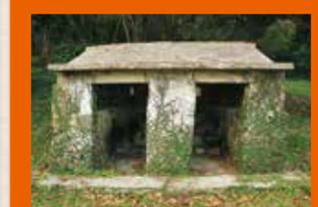
新垣グスクの殿曲輪内、内原ノ殿の祠の左側にある石積みで囲まれた井戸跡です。旧暦5月、6月のウマチーで拝まれています。

G アガリ 東ヌカー (東ノ井戸)



新垣グスクの内、内原ノ殿の北側約20mの位置にある石積みで丸く囲まれた井戸跡です。旧暦5月、6月のウマチーで拝まれています。

H ウチバラ トゥン 内原ノ殿



神聖な空間
祠内にはご神体として自然石が置かれています。グスク時代は新垣グスクの女性たちが住む空間でした。

★印は、中城村教育委員会からの提供写真です。